

『無防備な心に火災がかくれんぼ』（全国統一防火標語）

これからの時期、ストーブなどの暖房器具を使う機会が増え、また、空気が乾燥するため、火災の発生しやすい季節となります。村内では、消防団による巡回や消防署による防火パレードなどが行われ、日頃の火災予防意識を呼びかけています。

村民ひとりひとりが普段の生活の中で防火意識を高め、火災を予防していきましょう！

気持ち引締め防火を徹底

秋空が晴れ渡った10月19日、平成27年青森県秋の火災予防運動期間（10月19日～25日）の初日に合わせ、東通消防署前において、防火パレード出動式が行われました。

出動式には署員約30名が整列。越善靖夫村長からの訓示があった後、一斉に車両点検を行い、村内へ防火を呼びかけ出動しました。

出動式には、こども園ひがしどおりの園児たちも参加。元気いっぱいのアトラクションで式典を盛り上げると、憧れの消防車と記念撮影。署員たちも、いつにも増して引き締まった表情で任務に就いていました。



訓示を述べる越善村長

日頃の準備を万全に

一方、11月7日から8日の2日間にわたり、東通村消防団による秋季火災予防運動及び消防施設巡回査察が実施されました。

この査察は、火災予防運動の一環として春と秋に実施しているもので、防火思想の啓蒙と防火態勢の更なる充実を図るものです。

当日は、濱端源三消防団長をはじめ消防団本団並びに東通村消防委員が各消防分団（20個分団）を巡回し、団員の服装や礼式、車両・機械器具の作動・操作の確認及び放水訓練等を行ないました。



有事に備えた放水訓練

自衛官募集相談員の

委嘱状が交付されました

10月29日（木）、自衛官の確保に努めるため、村と自衛隊青森地方協力本部の連名で、自衛官募集相談員2名を委嘱しました。

わが国の安全保障や災害時における自衛隊の果たす役割はこれまで以上に重要になっていきます。

募集相談員は、自衛官志願者に対して情報提供や広報活動を行い、募集事務が円滑に遂行できるように努めています。

なお、委嘱を受けた相談員は次のお二人です。

- ◇ 丹内 俊範さん（古野牛川）〔再任〕
- ◇ 三國 立さん（岩 屋）〔再任〕



（写真左から）
越善村長、三國さん、島津青森地方協力本部長、手塚むつ地域事務所長
※ 丹内俊範さんは公務のため欠席されました